

「でんきと私」

兵庫県立洲本実業高校 電気科 2年 古岡 大輝

「ハリー・ポッター」は、魔術を使う少年の映画であった。彼は、「物を動かしたり」、「空を飛んだり」できるとても便利な魔法を持っている。寝坊して遅刻しそうなときなど、このような能力が使えたらと何度も思ったことがあるのは私だけではないはずだ。

今日では、「ドローン」によって、荷物だけではなく人までも空輸できるようになっている。もちろん、空には、信号もなければ、道路もない。出発地点と目的地点までの直線距離を移動することで、移動時間の大幅な短縮が実現される。エネルギー節約とともに、利便性の向上につながる。

さらに、人が運転しなくとも化石燃料がなくても目的地に移動できる便利な自動車が実用化されつつある。電気を蓄える蓄電池への充電には、プラグインではなく無線が検討され、駐車中にチャージできるシステムも開発されている。この技術は魔法といっても過言ではないはずだ。

しかし、このシステムは、長時間の駐車が必要であり、充電可能な台数も決まっているなどの課題がある。

そこで、一つ提案したい。EV 走行中に自動的にチャージできるような道路システムの創設である。道路の中央部にコイルを埋設し電磁波を発生させ、走行中の自動車の蓄電池に充電させるエネルギー伝達機構である。一定の間隔でこのような充電システムが道路に設置できれば、自動車自体の蓄電池容量を少なくでき軽量化が実現され、充電不足に伴う路上停止がなくなり、安全性向上や利便性向上につながる。この方式を、「ワイヤレス・ロードイン・チャージシステム」と命名してみた。私は、将来この魔法のエネルギー伝達機構を実用化する電気技術者になりたいと思う。

「電気」は私たちの夢を実現してくれる「魔法」である。私も新たな魔法を生み出すため、さらに電気を勉強したいと思う。電気科に入学して、ようやく希望が持てる進路選択ができたと思っている。ちょうど「ホグワーツ魔法魔術学校」のように。